社会福祉法人敬老園は、職員の処遇向上に取り組み、処遇改善加算を算定する要件を満たすため、次の項目に取り組んでいます。

職場環境等要件

区分	法人の取り組み内容
入職促進に向けた取り組み	職員の入職促進にむけた取り組みとして、中学・高校生などの職業体験の受け入れや施設見学、地域行事への参加や広報誌を通じて職業の魅力を発信
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	職員の資質向上やキャリアップに向けた支援として、各種資格取得（介護福祉士や介護支援専門員等）を目指す職員へ法人の受講費用等補助制度を活用した研修受講支援の実施。法人の７つのライフステージの一つとして教育事業（介護職員初任者研修事業、喀痰吸引等研修事業、外国人材確保・育成）を実施
両立支援・多様な働き方の推進	職員の子育てや家庭と仕事の両立支援・多様な働き方の推進として、法人運営の認定子ども園での一時預かり事業の取り組み、福利厚生として心身のリフレッシュによる各人の活性化や職員家族への慰労及び職員の自己啓発促進を目的としたリフレッシュ休暇制度の導入、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実化
腰痛を含む心身の健康管理	腰痛を含む心身の健康管理をはかるため、事故やトラブル発生時はリスク管理担当者による対応を基本とし、発生時対応のマニュアル化を図ることで職員の精神的負担の軽減
生産性向上のための業務改善の取組	業務負担軽減、生産性向上のための業務改善の取り組みとして委員会を設置し、定期的な会議を開催。タブレット端末や見守り機器等の導入やICT活用方法の検討実施。業務量縮減を図る
やりがい・働きがいの醸成	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化及び介護職員個々の気付きを踏まえた勤務環境やケア内容の改善を図ることで職員のやりがい・働きがいを醸成